



盛岡市上下水道局職員インタビュー



所属	給排水課
職員名	小笠原 技師
入庁年度	令和3年度
職種区分	土木技術職

※所属は令和4年4月1日時点です。

Q1：採用から現在までの所属は？

令和3年度～ 上下水道局給排水課

Q2：現在の担当業務とやりがいは？



お客様が設置する排水設備の設計審査や完了検査をしているほか、下水道の使用に関する様々なご相談にも対応しています。他の課と比べて市民の方の生活に密着した仕事であるため、市民の暮らしを直接守っているという実感があり、やりがいを感じます。

また、お客様によって抱える事情は様々であり、多種多様なケースに対応する能力が身につく、とてもやりごたえのある仕事だと思います。

Q3：職場の雰囲気は？

皆さんとても優しいです。仕事で疑問に思ったことを質問すると、いつも職場の先輩方が懇切丁寧に教えてくださるので非常に助かっています。基本的にまじめな雰囲気の職場ですが、堅苦しさや息苦しさは無い和やかな職場です。

Q4：学生の時に力を入れていたことは？

大学時代に一番頑張ったことは卒業研究です。専攻分野が海水の研究だったのですが、船上で船酔いに苦しみながらサンプルの採取を行ったり、分析用機材の不調の影響で研究室に寝泊まりすることになるなど、肉体的に厳しい研究だった記憶があります。不器用なので、細かい作業が多いのも大変でした。大変だったと同時に卒業研究を経て、大分成長できたとも思っています。

Q5：盛岡市を志望した理由は？

出身が盛岡市だからです。長年暮らしてきたので土地について比較的詳しいですし、愛着もあります。遠距離の転勤がないことも理由の一つです。

Q6：入庁前と入庁後での、職場へのイメージの変化は？

「上下関係が厳しい」というイメージがありましたが私の職場では、経験の浅い職員である自分の意見であっても耳を傾けてくれるなど、理不尽なことは特に無かったです。また、昨年度はコロナ禍の影響で飲み会が全くなかったというのもイメージと違いました。

Q7：これまでの仕事で印象に残っているエピソードは？

当課では毎年、公共下水道に未接続の世帯に対して各戸訪問し、接続を促す水洗化指導を行っています。しかしながら、経済的理由などにより、なかなか接続を検討していただけないことが多いです。私も昨年初めて水洗化指導に参加しましたが、10軒程度訪問したものの、成果0であったりして途方に暮れました。そんな中で将来的に下水道への接続を考えていただけるお客様がいらっしゃると、自分たちの努力も無駄では無いのだなと思い、胸が熱くなりました。

Q8：とある1日のスケジュール

9：00	始業、設計審査、窓口対応
12：00	昼休み
13：00	工事完了検査
15：30	設計審査、窓口対応
17：45	終業



Q9：モットー（仕事の上で大切にしていること）は？

「お客様に寄り添いながらも公正な仕事を！」

ルールに従って仕事を行うのはもちろん最優先すべき事項ですが、対応する市民の方々が私たちのお客様であることを忘れてはいけません。二つの意識のバランスが仕事を行う上で一番大事なことなのではないかと考えています。

Q10：盛岡市上下水道局で働くことの魅力は？



街中に張り巡らされる長大な上下水道の整備といったスケールの大きい業務から、各家庭の給水や排水に関するご相談のような市民に身近な業務まで、幅広い業務に携わることが魅力だと思います。

Q11：未来の後輩に一言！

「専門知識も技能も全然持ってないし水道局に勤められるわけが無い」と思っている方、大丈夫です。私も無かったです。入ってから覚えてしまえばそれほど問題はありません。「ここで働きたいです！」という思いを面接官にぶつけましょう。